

課題の最前線を 進化の最前線へ

2026年5月22日

SOMPOホールディングス株式会社



2027年4月1日変更予定*

SOMPOグループ株式会社

～ グループ結束力のさらなる向上 ～

パーパス

“安心・安全・健康”であふれる未来へ

ビジョン

未来の可能性を解き放つ

本日のプレゼンテーションのポイント

2025年度

現中計KPIおよび2030年度の
目指す姿を概ね**前倒し達成**

修正EPS成長率*1
19%

中計目標: 12%超

修正連結ROE
13.4%

2026年度目標: 13%

修正連結利益
5,352億円

2030年度目標: 5,000億円

時価総額*2
5.3兆円

2030年度目標: 6兆円

成長投資
Aspen買収完了

2026年度

2030年度に向け、
レジリエンス・収益性を高める基盤整備

SOMPO P&C

既存事業のレジリエンス向上と
さらなるオーガニック成長

SOMPOウェルビーイング

2026年度から
「実装・事業拡大フェーズ」へ移行

Aspen PMI

中期

利益拡大を通じて、
ROEを安定的に向上

さらなる高みへ

成長投資

**DDA*3
オペレーション**

修正連結ROE
13%前後

*1 2026年度予想に基づく中計期間の年率成長率

*2 2026年3月末時点

*3 デジタル・データ・AI

2025年度の総括

現中計KPIおよび2030年度の目指す姿を概ね前倒し達成

「変革と断行」の結果が、2025年度の財務数値に結実

2030年度目標
前倒し達成

修正連結利益

過去最高益

3,359億円

3,234億円

5,352億円

期初予想
3,630億円

+65%

2023年度

2024年度

2025年度

変革と断行

2ビジネス体制発足

アンダーライティング強化

業界慣習からの脱却

順調

時価総額

(2023年度末対比)

1.7倍

3.1兆円

4.2兆円

5.3兆円

1.7倍

2023年度末

2024年度末

2025年度末

株価

2023年度末

3,190円

+88%

2025年度末

6,012円

連結純資産*

4.1兆円

+26%

5.1兆円

PBR*

0.77倍

+0.27倍

1.04倍

* IFRSベース



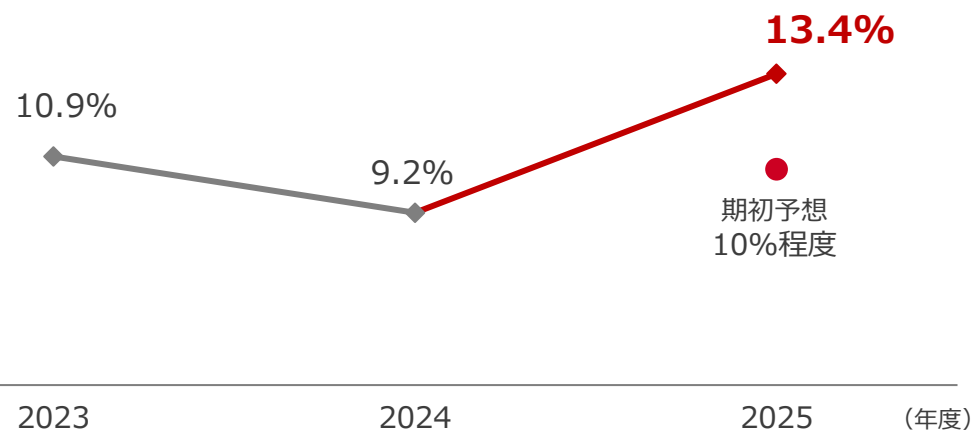
利益成長を主因にROEも大きく向上、EPSは年率20%に迫る成長を実現

修正連結ROE

(2025年度実績)

13.4%

中計目標
前倒し達成



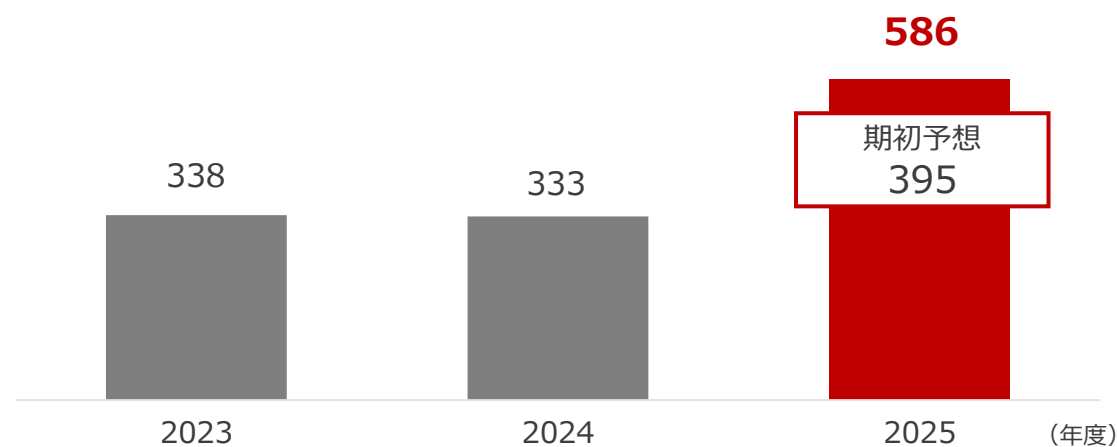
修正EPS成長率

(中計期間)

年率+19%成長のペース

中計目標
達成見込み

(円)



修正連結利益 (IFRSベース)

2025年度：対前年2,118億円増益

P&C

国内・海外保険引受利益の拡大

**ウェル
ビーイング**

安定成長（保有の拡大・生産性向上）

修正連結純資産 (IFRSベース、除くAOCI)

利益蓄積・株主還元（EPSに合わせた増配・自己株式取得）

発行済株式数 (除く自己保有株式)

自己株式取得（基礎還元・政策株式売却益還元 + a）

SOMPO P&Cでは、レジリエンス向上の取組が進展

2025年度のアチーブメント
(対2024年度)

SOMPO P&C
初年度からQuick Win発現

+2,015億円

修正利益：
ベース収支が大幅改善

2,832 >>> 4,847

+3,085億円

保険収益：
収益性を伴う成長

47,902 >>> 50,988

+45百万ドル

資産運用による
収益性向上

+60億円

再保険料
削減効果

国内損保事業

アンダーライティングが劇的改善

+700億円

火災・新種保険の
ベース収支改善効果*1

△6%

台風集積リスクの削減

△100億円

ラインサイズコントロールによる
大口事故期待値減少

350 >>> 250

海外保険事業

収益性を維持しつつ拡大継続

13.8%

目標13%

ROE：Aspen買収用資本を
保有しつつ、目標を超過*2

△8.6pt

90.6 >>> 82.1

規律あるアンダーライティングによる
コンバインド・レシオ改善*3

+10億ドル

地理的拡大によるトップライン拡大*2
オーストラリアの強化

1年前倒し
目標達成

Aspen買収

- ✓ 2026年2月に完了
- ✓ 買収額35億ドル
- ✓ 実質PBR1.15倍

SOMPOウェルビーイングは、「つなぐ・つながる」戦略による事業基盤整備が進展

2025年度のアチーブメント
(対2024年度)

SOMPO ウェルビーイング 顧客基盤が着実に拡大

+79億円

修正利益は着実に増加

662 >>> 741

+30万人

顧客基盤は順調に拡大

700 >>> 730

国内生保事業

Insurhealth®を中心に保有が増加

+30万件

Insurhealth®
販売件数

累計230万件を突破

+33万人

ひまわりファンの増加

538 >>> 571

SOMPOチョコ活！開始
(グループ従業員の健康増進・
データ取得)

鎌倉新書へ出資
(2025年12月)

介護事業

施設運営以外の収益源も成長

+11億円

未来の介護による生産性向上

14 >>> 25

+16億円

ソリューション事業の売上増

251 >>> 267

2026年度の見通し

2030年度に向け、レジリエンス・収益性を高める基盤整備

2026年度も、収益性向上を背景に重要指標は着実に改善見込み

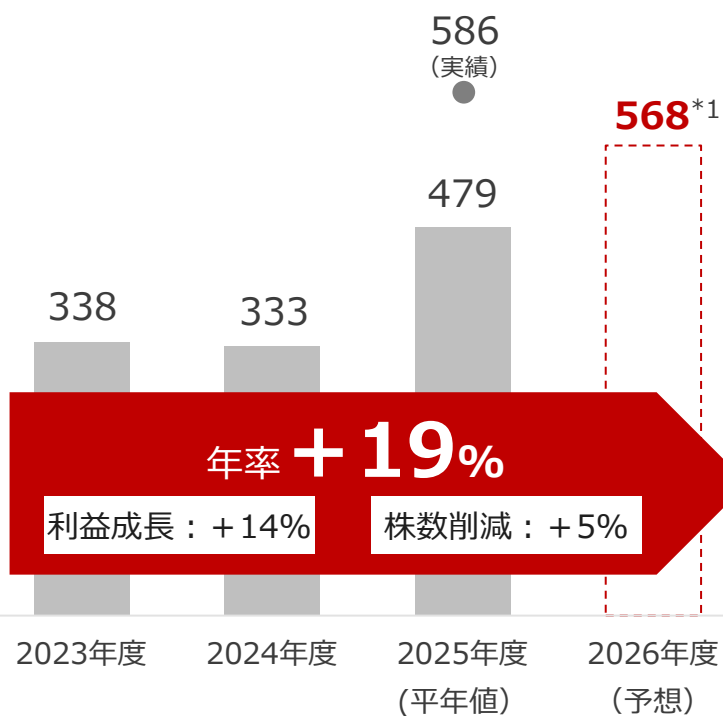
現中計KPI

修正EPS成長率

(中計期間)

目標

年率 **+12%**超

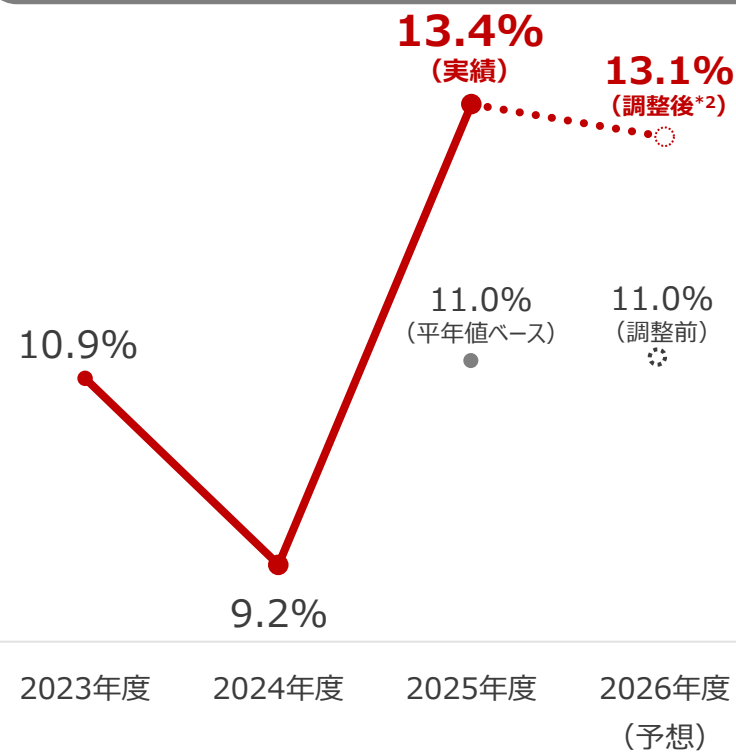


修正連結ROE

(2026年度)

目標

13~15%



2030年度に目指す姿

修正連結利益

(2030年度)

目標

5,000億円

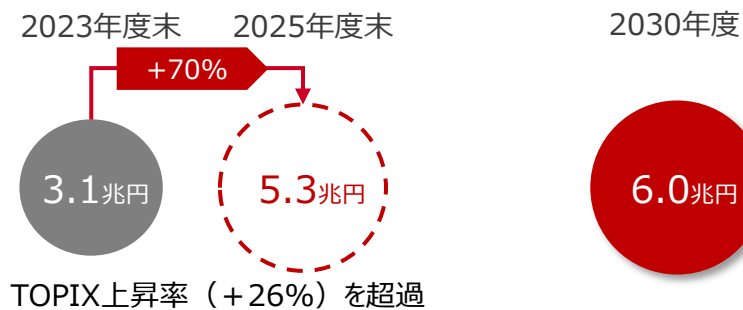


時価総額

(2030年度)

目標

6兆円



中計策定時と比較して、修正連結利益は想定を上回る成長

修正連結利益

(2026年度予想、対中計策定時)

+300億円

4,700 >>> 5,000

+500億円

国内損保事業における想定以上のSJ-R効果等

△250億円

その他要因 (SHDの本社移転費用等)

成長投資を
有言実行

Aspen買収効果

ROE影響
+0.8pt

修正連結純資産

(2026年度予想、対中計策定時)

+8,000億円

38,000 >>> 46,000*

+4,000億円

市場変動影響
(ファンド等の未実現損益増、円安影響等)

+4,000億円

SHD保有株式売却、政策株式売却加速影響等

**市場変動要因などで増加した
修正連結純資産が一時的にROEを引き下げ**

ROE影響
△2.9pt

* 基礎還元と政策株式売却益の還元のみ考慮した試算値

SJ-RおよびAspen統合により、2026年度もSOMPO P&Cが成長をけん引

修正連結利益
(2026年度予想)

5,000億円

+580億円

海外保険事業

オーガニック+Aspen効果で成長継続

+150億円

国内損保事業

アンダーライティングの徹底を継続

SJ-R効果

+150億円

保険金
サービス
変革

適切支払による保険金削減 **△80億円**
業務削減効果 **△1,000人相当**

リテール
変革

AI活用率（日次） **50%**
店舗統廃合 **△30拠点**

ポート
フォリオ変革

環境変化に応じた
機動的な商品改定 **年2回改定**
(自動車保険)

+210億円*2
オーガニック成長

コンバインド・レシオ*3

89.0%

地理的拡大による
グロス保険料増加*4

+14億ドル

SOMPO P&Cによる
投資損益効果*5

20百万ドル

AUMの増加額

+16億ドル

+450億円
Aspen効果*6
(詳細P14)

シナジー発現額

+60百万ドル

グロス保険料の増加*7

+46億ドル

修正連結利益
(2025年度)
4,375億円*1

*1 自然災害、大口事故、税制変更の影響を除いた平年値ベース *2 対前年の平年値ベース、為替影響含む *3 IFRS17、割引後ベース *4 取組累計額 *5 2026年度単年の効果額

*6 2026年度通年のAspen連結効果額 *7 2025年度実績、USGAAP (1-12月ベース)

AspenのPMIは前倒しで進捗

統合

前倒しで進捗

- 1 新経営体制スタート
- 2 保険引受基準の統一
- 3 契約更改は想定通りに推移

Aspen格付

軒並み向上

- 1 S&P : Aに向上 / ポジティブ見通し
- 2 Moody's : A3からA1に向上
- 3 AM Best : ポジティブな方向で見直し中

リスクと資本

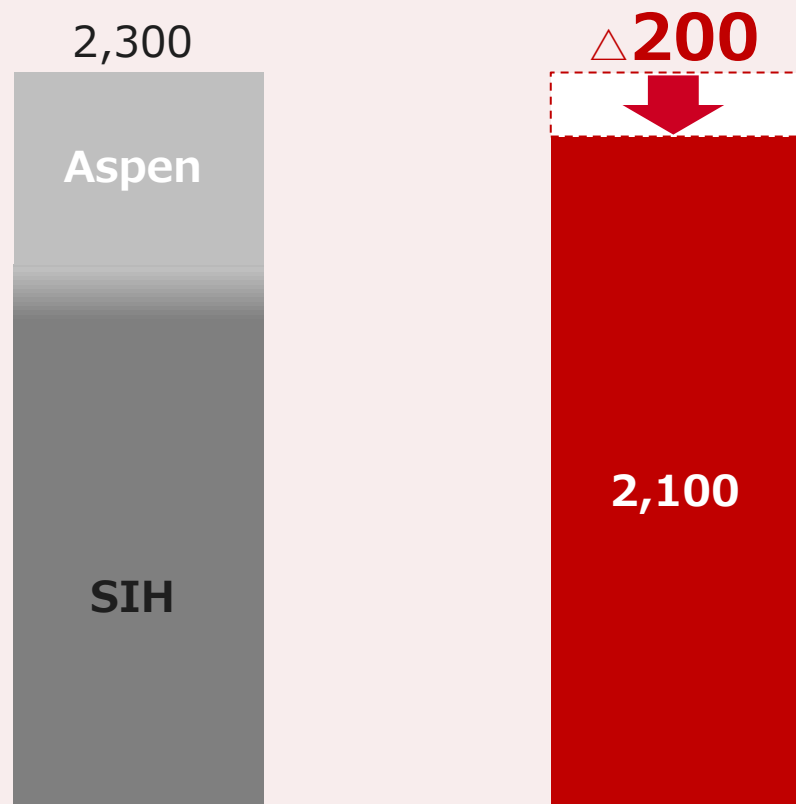
グループの資本効率向上に寄与

- 1 グループのリスクアペタイトを統一
- 2 資本効率向上と分散効果発現
(AspenからSIHへのレミッタンス3億ドル)
- 3 ガバナンス体制の構築完了

Aspenとの社費削減シナジー効果も発現開始

海外保険事業の社費

(百万ドル)



2社単純合算

統合後の目指す姿

🔄 計画策定済
35%

✓ 実行済
30%

社費削減シナジー
200
百万ドル

📋 実行中 35%

SOMPOウェルビーイングは、2026年度から「実装・事業拡大フェーズ」へ移行

BtoBtoE

仕事と介護の両立支援サービス



ビジネスケアラー318万人*にアプローチ

SOMPO代理店

2026年4月から順次提携開始

顧客数2,000万人へのアクセス

自治体連携

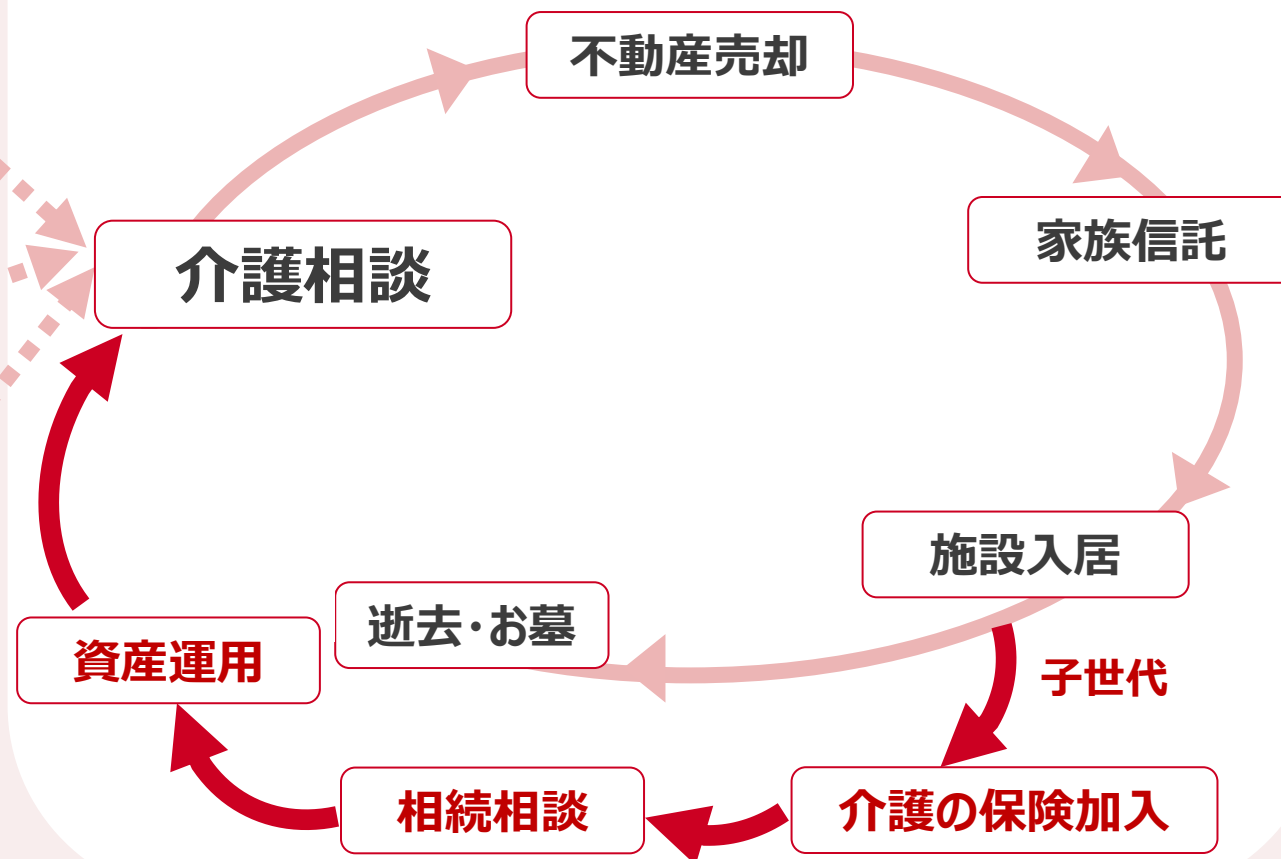
2026年3月にさいたま市と連携開始

知見を全国の自治体との協業へ活用

親とあなたの「健康・介護・お金」をともに考える



親の介護相談から子世代へ
世代を超えてループ

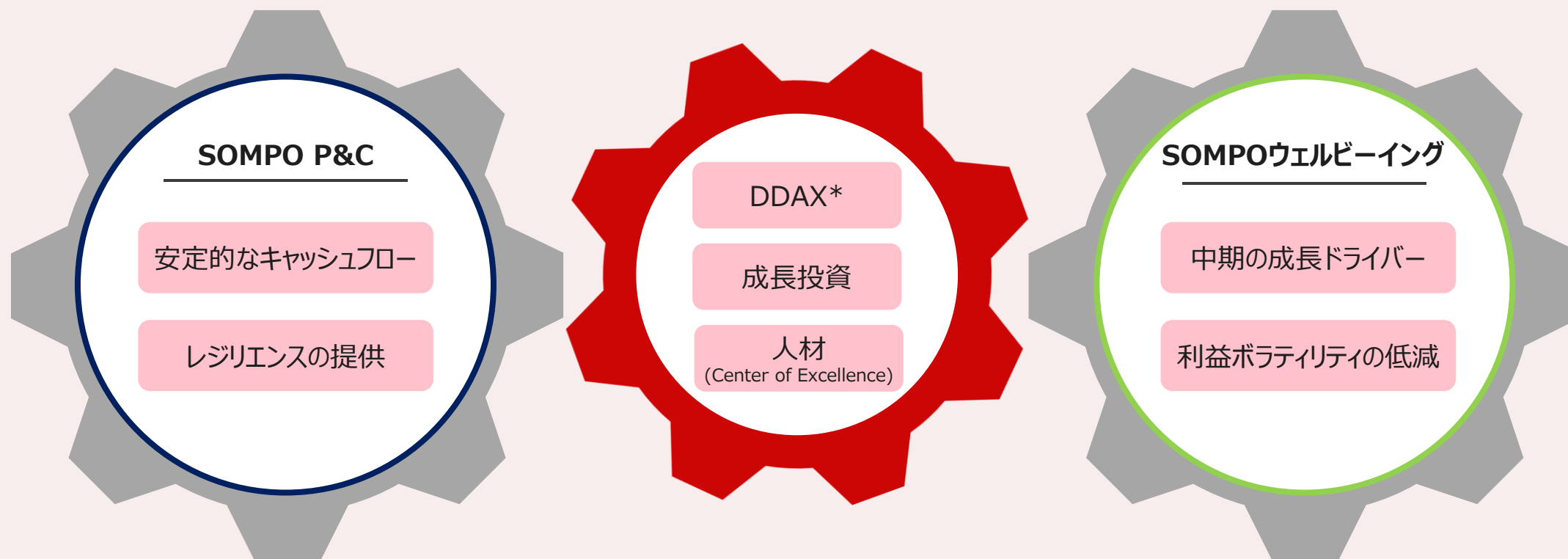


中期成長戦略

利益拡大を通じてROEを安定的に向上

(中期のROE：13%程度、成長投資によるさらなる向上を狙う)

磨き上げたソリューションをグローバル市場に展開することで、さらなる成長を目指す



課題先進国・日本で解を確立

- ・レジリエンスサービス（保険・防災減災）
- ・介護・ウェルビーイングソリューション



ソリューションを世界へ輸出



さらなる成長・資本効率向上

SOMPO P&Cのオーガニックな収益性向上は依然として継続

国内損保事業

ROEは13%程度まで向上

自動車保険
コンバインド・レシオ*1

2030年度

95%

- ✓ 主力の自動車保険が高収益化
- ✓ 保険金サービス変革効果が大きく発現
(支払適正化および業務効率化)

事業費率*1の改善

2030年度

30%未満

- ✓ デジタル等による二重構造解消
- ✓ 営業事務の集約化に伴う
生産性向上による事務削減効果
(600名相当)

競争力強化

- ✓ リテール・コマーシャル事業戦略
- ✓ 発災前～災害後までのサポート拡充

SOMPO P&C

一体となった
バランスシートを
テコに取組強化

海外保険事業

収益性を維持しつつ、拡大が継続

グロス保険料*2

2030年度

250億ドル以上

- ✓ 2025年度から+15%成長
- ✓ 保有比率も引き上げる方針

地理的拡大*2

2028年度

20億ドル

- ✓ 英国および欧州を中心に伸長

Aspenシナジー

2029年度

200百万ドル

- ✓ オペレーションによるシナジー想定
- ✓ 資産運用や資本面における+α

国内損保事業は、事業効率を向上し成長戦略を着実に実行

リテール・コマース事業戦略

AI活用等による生産性向上
戦略的要員配置による成長力強化

リテール



ニーズに応じた顧客体験価値の向上
(デジタル導線の整備等)



AIエージェント活用による業務の
自動化・省力化や代理店特性に応じた
営業プロセスの見直しにより、
約2,700名相当の生産性を向上

コマース



事務オペレーションやシステムをLift & Shiftし、
コマースCOO傘下に集約



営業・商品再編による専門性の高度化と、
成長の加速

トップライン : 約+1,200億円
利益貢献額 : 約+300億円

HIKESHI DNA

災害発生前～後のサービス拡充
による差別化戦略

商品・サービス ※個人分野イメージ

発生前

AIリスク診断等でお客さまのリスクを見る化
パーソナライズされた保険設計を提案

発生中

自然災害や日常生活におけるリアルタイム
アラート等により行動変容をアシスト

発生後

契約データをGIS化、気象データや衛星画
像等と統合し、能動的な請求勧奨を実施
高品質な修理業者紹介で復旧をサポート
するとともに、保険金支払いを最適化

パートナーとの連携



世界最大の民間気象会社である
ウェザーニューズ社と連携

データ・AI活用で情報発信・災害
リスクの予兆把握・行動可視化



防災の最前線で活躍する消防・消防団と連携
防災コンテンツの提供等により産官学民で共創

ダイレクト事業の進化

プライシング変革による収益性向上

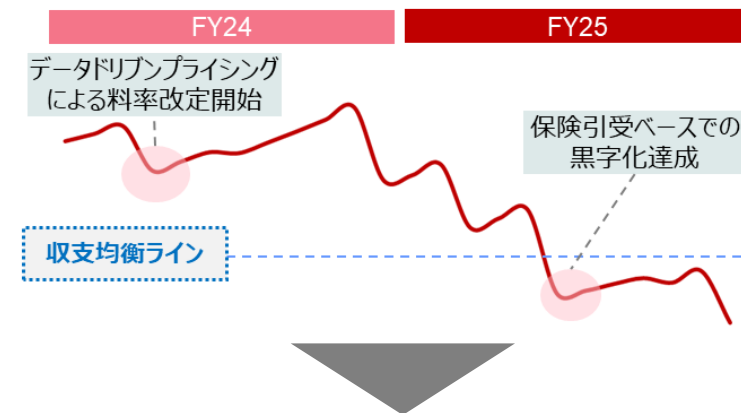
2025年度料率改定

年7回

E/I損害率(対前年)

△5.4pt

SOMPOダイレクトの自動車保険予測最終損害率（引受月別）



2026年度に黒字化
さらなる成長へ

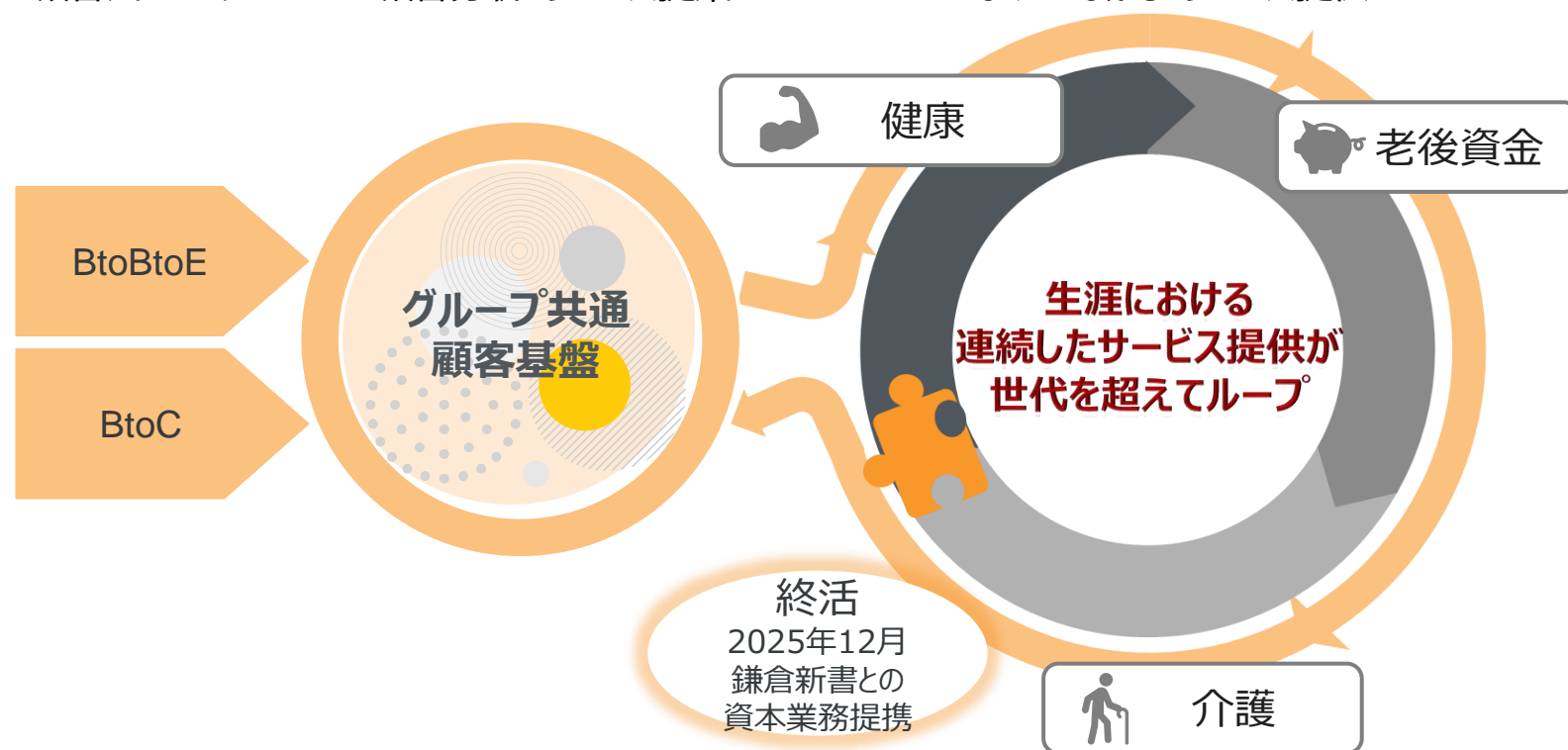
SOMPOウェルビーイングのLTV拡大を通じて、グループの利益安定性は向上

ウェルビーイング・エコシステムを通じて、LTVの持続的拡大

顧客アプローチ

顧客分析・サービス提案

“つなぐ・つながる”サービス提供



グループの利益安定性向上

利益とボラティリティ*のイメージ

ウェルビーイング修正利益

+1,000億円増加



修正連結利益のボラティリティ

10%低下

積極的な成長投資により、1,000億円超の利益積み上げを狙う

SOMPO P&C **利益成長**

 Aspen買収後も成長投資方針は維持

海外M&A クライテリア

- ✓ ROEの引き上げ
- ✓ 既存ビジネスの成長性・収益性・分散
- ✓ AspenのPMIを最優先

国内M&A クライテリア

- ✓ 発災前～災害後のサービス拡充

SOMPOウェルビーイング **リスク分散**

 つなぐ・つながるを加速

ミッシング ピース獲得

- ✓ BtoBtoE
- ✓ 老後資金

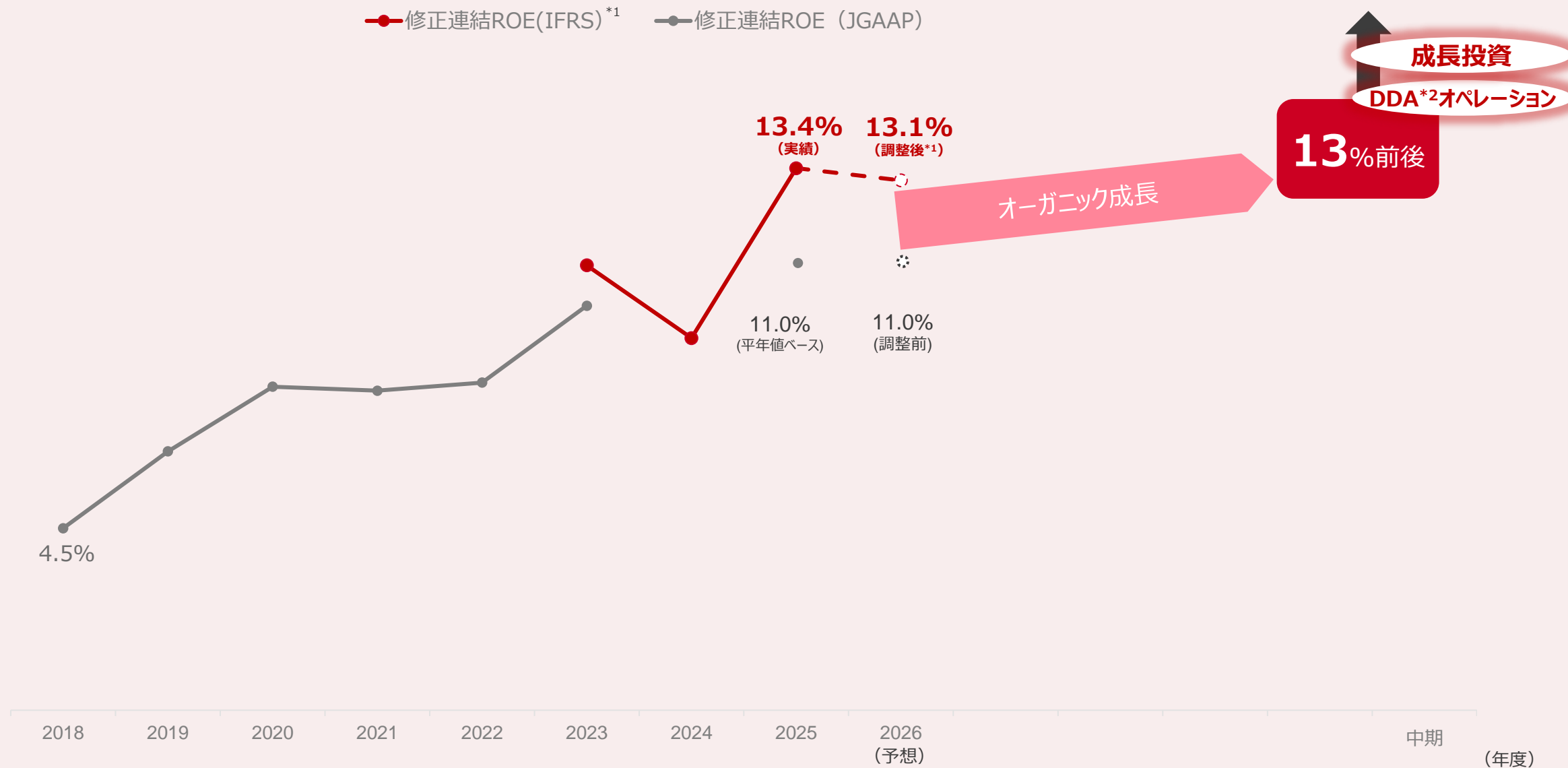
新規事業

リスク分散
将来の成長ドライバー

 パーパスを基点とした、事業のホワイトスペース

ROEは安定的に13%前後へ向上、投資実行でさらなる引き上げを目指す

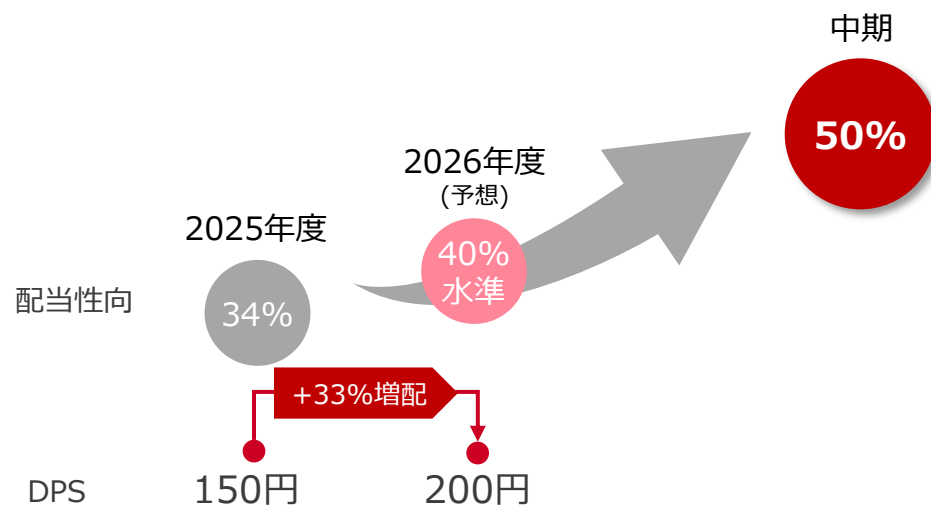
●修正連結ROE(IFRS)^{*1} ●修正連結ROE (JGAAP)



*1 金融市場変動影響などを中計策定時の前提に調整後のROE *2 デジタル・データ・AI

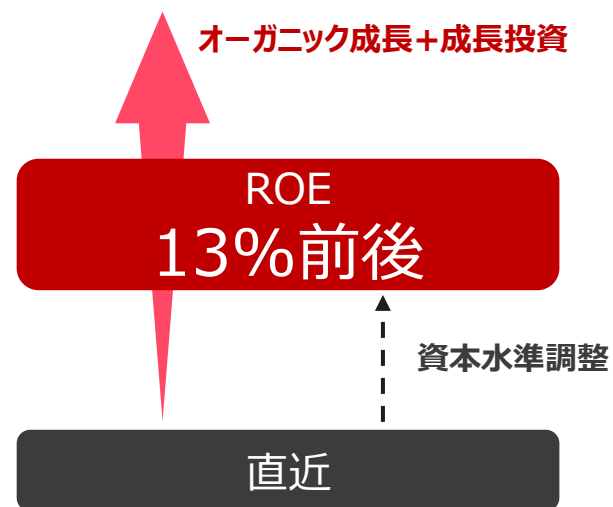
株主還元は中期的に配当性向を引き上げ

配当



中期的に配当性向を50%へ

自己株式取得



ROEを意識し、機動性を重視

将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

SOMPOホールディングス株式会社

I R室

電話番号 : 03-3349-3913

Email : ir@sompo-hd.com

URL : <https://www.sompo-hd.com/>